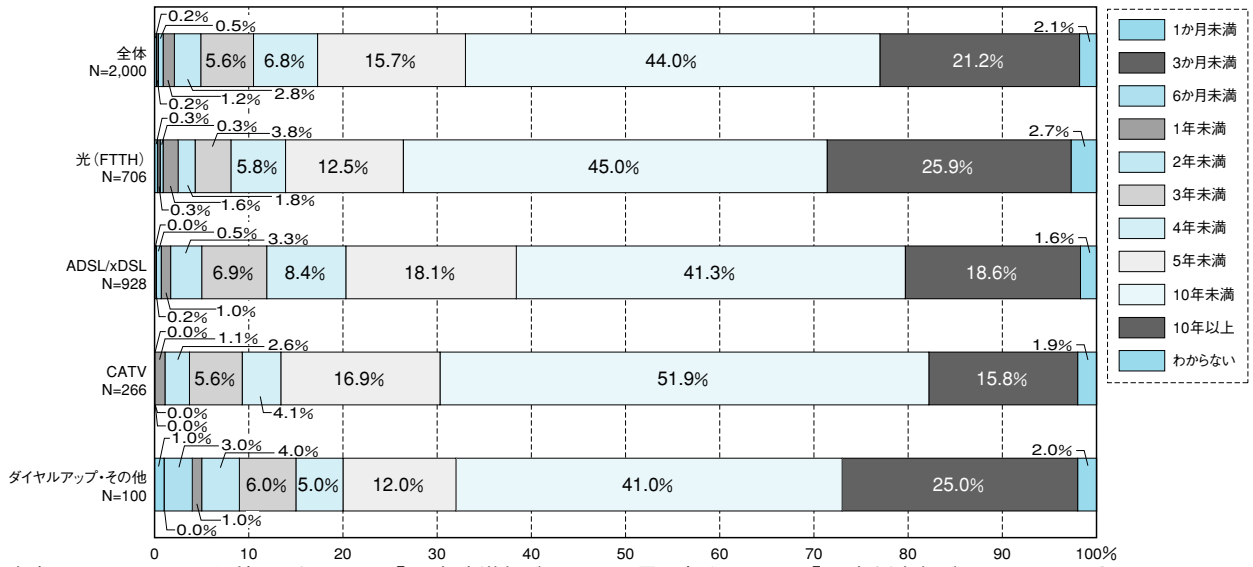


通信回線全体動向

インターネット利用歴5年以上が65.2%

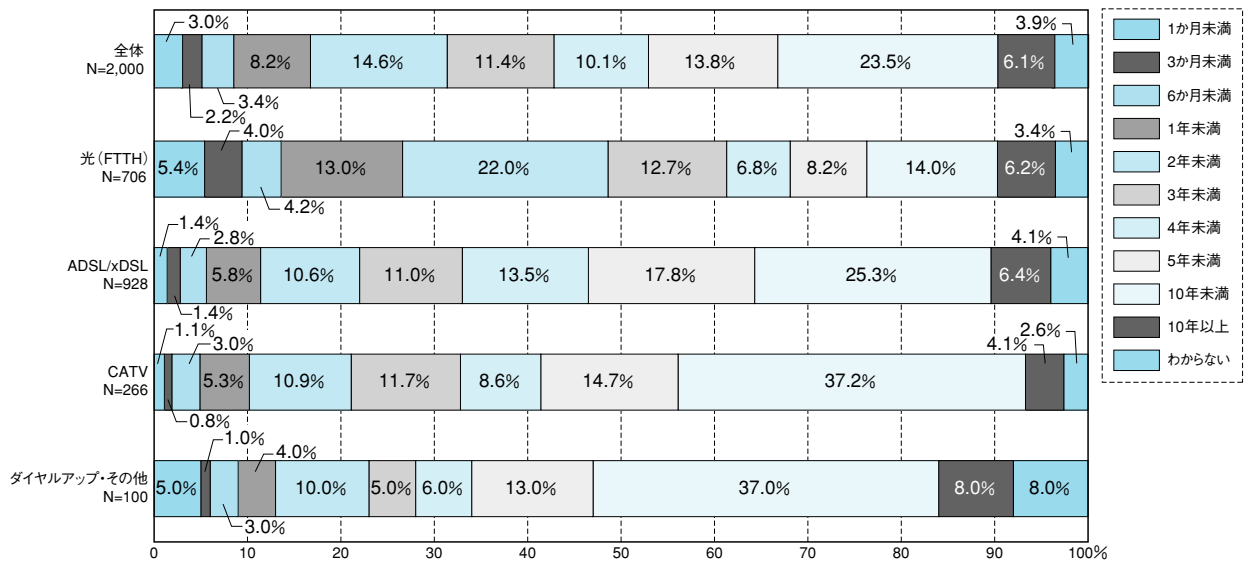
資料2-7-1 家庭でのインターネット利用歴 [全体と接続回線別]



家庭でのインターネット利用歴をみると、「10年未満」が44.0%と最も高く、ついで「10年以上」が21.2%となっており、5年以上の利用歴をもつ利用者は65.2%である。利用歴5年を基準に回線別にみた場合、5年以上の利用歴の比率が高いのは、「光 (FTTH)」「CATV」「ダイヤルアップ・その他」「ADSL」の順となっている。

光 (FTTH) の利用歴は浅く、2年未満が約半数

資料2-7-2 現在利用中の接続回線の利用歴 [全体と接続回線別]

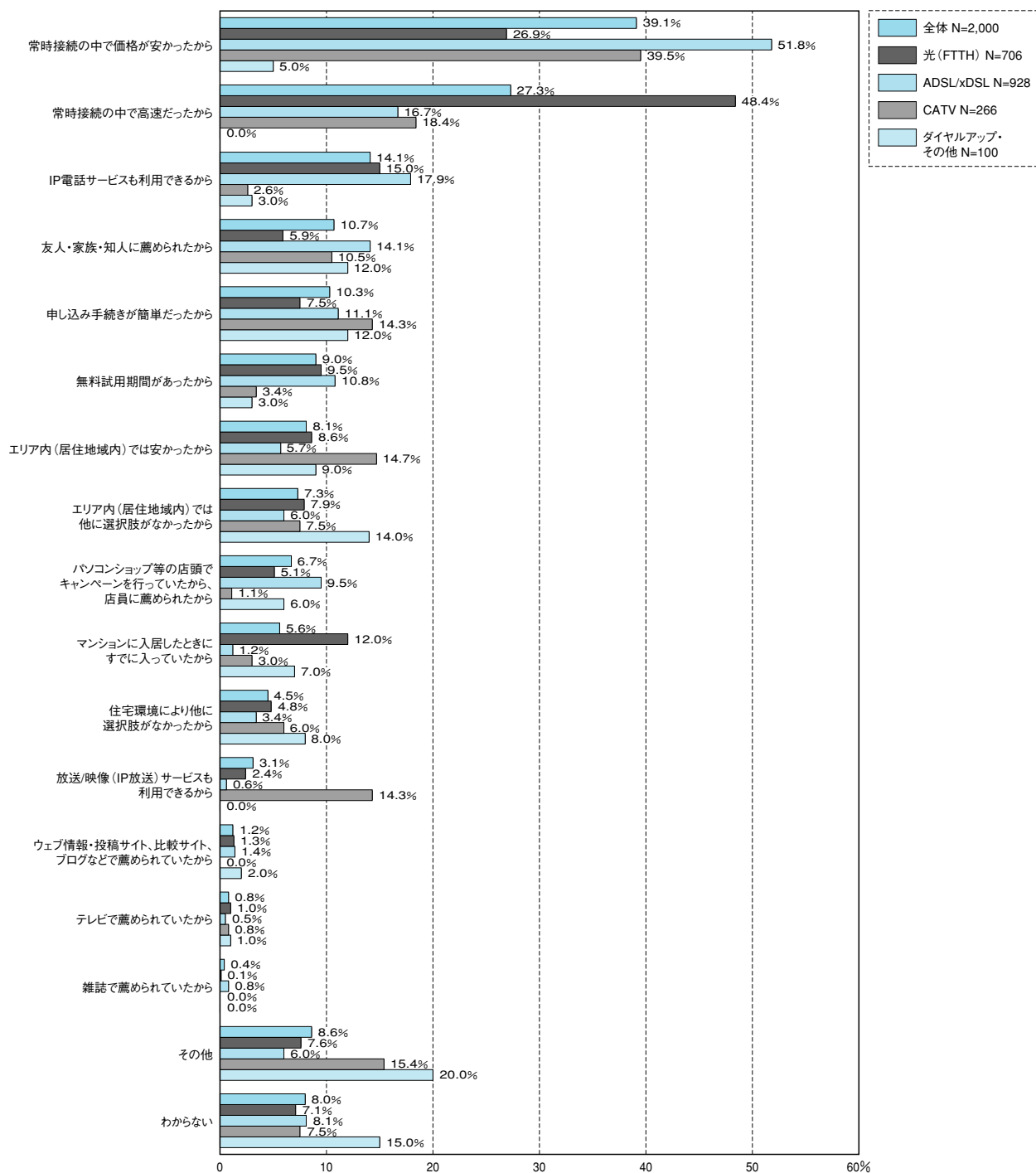


現在利用中の接続回線の利用歴をみると、接続回線が市場で利用・普及された順に利用歴も長くなっている。「光 (FTTH)」では2年未満の利用者が約半数に達し、最近の光回線の普及状況を反映している。反対に「ダイヤルアップ・その他」では5年以上の利用歴が半数近くに達する。

通信回線全体動向

回線の選択理由は、常時接続で安価、高速

資料2-7-3 インターネット接続回線の選択理由（複数回答）[全体と接続回線別]



利用中の接続回線を選択した理由は、「常時接続の中で価格が安かったから」「常時接続の中で高速だったから」の比率が高く、常時接続、価格、速度が条件となっている。特に、「光 (FTTH)」では「常時接続の中で高速だったから」の比率が約半数と速度が求められており、「ADSL/xDSL」や「CATV」では「常時接続の中で価格が安かったから」が最上位で価格の安さが重視されている。

©impress R&D,2007



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp